

# 渡邊 曉雄 — その軌跡 —

Akio Watanabe  
1919 - 1990

会 期：1999年6月17日(木) — 6月30日(水)

日曜休館

会 場：東京芸術大学大学美術館 陳列館

開館時間：午前10時—午後4時

主 催：東京芸術大学音楽学部・東京芸術大学大学美術館

協 力：ハーモニーの家の会



指揮者の渡邊曉雄(1919~1990)がこの世を去ってから、はや10年の歳月が流れようとしています。渡邊は、東京音楽学校研究科を卒業、ヴァイオリン、ヴィオラ奏者として活躍した後、指揮者に転じ、東京フィルハーモニー交響楽団の初代常任指揮者に就任。1956年には日本フィルハーモニー交響楽団の創設に尽力し、同楽団を日本の一流のオーケストラに育てました。その後、京都市交響楽団、東京都交響楽団、広島交響楽団の音楽監督を歴任しています。国内の各オーケストラはもとより、欧米での活躍も顕著で、87年からは津山国際総合音楽祭の音楽監督をつとめるなど、第二次世界大戦直後から昭和の終わりまでの間に、多方面にわたる輝かしい業績を残しました。

教育者としての渡邊は、46年に東京音楽学校(現在の東京芸術大学音楽学部)の講師、49年助教授、62年教授となり、音楽学部指揮科主任もつとめました。80年からは客員教授、86年からは名誉教授として、幾多の後進の育成につとめ、この温和な表情と強靱な精神をあわせもつ音楽家の薫陶を受けた指揮者たちが、現在世界の檜舞台で活躍しています。さらに、82年からは作陽音楽大学(現在のくらしき作陽大学)でも教鞭をとりながら、学園の運営にも携わりました。

また、晩年には、〈ハーモニーの家の会〉を設立し、自然の中で、音楽、絵画、演劇、その他様々な文化的活動を行いながら、人と人とのユートピア的交流と絆を求め続けました。

今日、渡邊の生き方や考え方、実践の軌跡をたどってみますと、個人的、社会的な課題に真正面から取り組みながら、常に高い理想を追求し続けたその生涯と、活動の先駆的な意義が見えてきます。

没後10年を迎えようという本年、渡邊曉雄の功績を称え、その軌跡をたどることは、日本の指揮界のみならず、音楽界全般にとっても、意義のあることと考えます。

本展では、貴重な写真、ポスター、プログラム、遺品、楽譜等の資料を展示すると同時に、演奏ビデオの鑑賞コーナーでは、オーケストラを指揮するマエストロ渡邊の姿が再現されます。

あなたもこのマエストロの展覧会に足を運んでみませんか。



問い合わせ

東京芸術大学音楽学部 音楽研究センター  
〒110-8714 台東区上野公園12-8

TEL 5685-7723

渡邊暁雄展報告

1. 開催場所日時

- (1) 5月14日(金)～16日(日) 下諏訪町下諏訪総合文化センター  
「北欧音楽祭すわ」実行委員会主催
- (2) 6月17日(木)～30日(水) 東京藝術大学美術学部陳列館  
主催 東京藝術大学  
協力 ハーモニーの家
- (3) 8月5日(木)～18日(水) 茅野市三井の森渡邊暁雄メモリアルホール  
主催 ハーモニーの家

2. 協力機関、協力者

(1) 下諏訪町催し関連

◇設営・運営・諏訪地区資料収集

諏訪交響楽団、武井勇二、新村幹二、加納清 他  
教育委員会、文化センター係長濱克典 他

(2) 東京藝術大学催し関連

◇設営・運営

音楽学部、音楽資料室関根和江、教授角倉一朗、  
教授船山隆 他

美術学部、美術館助教授薩摩雅登、美術館企画・管理  
係長相澤尚登、同芸術資料係長四ツ釜豊 他  
音響研究室

ハーモニーの家の会 渡邊信子、谷伊佐夫、中山牧子  
飯野糸穂子、丸山広一

◇資料協力

愛媛交響楽団関連 中田勝博

日フィル関連 広報宣伝部長八木倫明

日フィルポスターデザイナー 水谷武司

シベリウス協会

写真 木之下晃

題字 吉澤大淳（下諏訪町教育委員長）

絵地図 今尾恵介

◇ブックレット 原稿 作曲家 松村禎三、評論 幸松肇、

フィンランド協会 片山豊

資料収集 ハーモニーの家の会

データ収集 関根和江

編集 石川淳一（Jークラフト）

（3）三井の森ハーモニーの家催し関連

◇設営・運営 武井勇二、加納清、茅野市博物館小林館長、丸山広一

◇資料協力 武井勇二、水谷武司 他

3. 入場者数

（1）下諏訪町文化センター 1,200名（推定）

（2）東京藝術大学（以下大学側報告による）

|        |     |        |     |
|--------|-----|--------|-----|
| 17日（木） | 120 | 24日（木） | 86  |
| 18日（金） | 57  | 25日（金） | 213 |
| 19日（土） | 45  | 26日（土） | 87  |
| 20日（日） | —   | 27日（日） | —   |
| 21日（月） | 69  | 28日（月） | 77  |
| 22日（火） | 48  | 29日（火） | 67  |
| 23日（水） | 50  | 30日（水） | 117 |

合計 1,036名

一日平均 約86.3名となり、陳列館での同様の催しとしては、盛況と  
のことです。